

# ドバイマラソン2020 報告書

文責：洞ノ上選手(福岡県)

大会名：Dubai Marathon 2020 日時：1月24日 結果：5位(1:29:54)

2020年最初のレースとなるドバイマラソンに出場してきました。

この時期は、毎年オーストラリアのトラックレースに出場していましたが、今回は東京パラリンピックに関わるレースが、ドバイで行われましたので、そちらに出場してきました。

1月のドバイは冬で、年間で一番寒い時期らしいですが、陽が出ると暑く、朝晩はひんやりとして、ちょうど良い気候でした。

初出場となった今大会でしたが、コースは完全なフラットで、Uターンが4つという単純なコースでした。日中は暑くなるので、スタートは朝の5:55という暗闇でのスタートでした。

スタートからハイペースでしたが、大きな集団となりました。私の前で、中国のザン選手が、ペースを上げ下げし、ワンテンポ遅れてですが、なんとか対応することはできましたが、そこで一気に乳酸が溜まってしまいました。

その後、ペースが一瞬落ちた際にマルセル選手がアタックし、それに対応する力は残っていませんでした。それに対応したのが、そのザン選手でした。そこで二人に逃げられてしまいました。

それを追う山本選手、ワンテンポ遅れて僕と西田選手とUAEの選手3人となりました。山本選手とは、付かず離れずといった感じで一定の距離でレースは進みました。

UAEの選手は、トラックがメインの選手なので、途中で脱落していきました。

その後、西田選手と二人で、先頭を交代しながらローテーションを行いましたが、スタミナタイプの西田選手とのローテーションはとてもきつかったです。そしてコースはフラットでしたので、ドリンクを飲むタイミングも無いほど、ずっと漕ぎ続けていました。

そして、乳酸が溜まった身体は、言うことを聞いてくれず、腕は棒のようになり、37km地点で西田選手からも遅れてしまいました。

なんとか後続の集団に追いつかれることはなく、5位でのフィニッシュでした。

フラットなコースなので、好タイムを狙っていましたが、残念ながら、目標としていた1時間24分00秒には遠く及びませんでした。

選手にはそれぞれ得手不得手がありますので、アップダウンのコースになると、今度は副島選手や渡辺選手も上位に来ることが予想されます。

苦手なフルフラットなコースでは、今までは、後続の集団にいたように思います。前半は手応えのある走りをするのが出来たので、その辺りは評価して、しっかりと次に繋げたいと思います。

それにしても、マルセル選手は、どんなコースにも対応できる本当に強い選手です。

僕も気持ちだけは負けずに頑張りたいと思います。

今後は、東京パラリンピック出場に関わる、ボストンマラソン(4/20)ロンドンマラソン(4/26)&ソウルマラソンに全神経を集中していきたいと思います。

引き続き応援のほど宜しくお願い致します。

## リザルト

- 1 Marcel Hug (1:22:25)
- 2 Zhang Yong (1:22:26)
- 3 Hiroyuki Yamamoto (1:28:40)
- 4 Hiroki Nishida (1:28:50)
- 5 Kota Hokinoue (1:29:54)
- 6 Sho Watanabe (1:30:57)
- 7 Jorge Madera Jimenez (1:30:58)
- 8 Ernst Van Dyk (1:30:58)
- 9 Masazumi Soejima (1:30:58)
- 10 Yan Qing (1:31:00)

